

この1年を振り返って

4階西病棟婦長 高橋 みさ子

平成12年度の4階西病棟の年間目標は、

- 1) 患者さまが療養しやすい環境作りに勤める。
言葉使い、対応身だしなみに気をつける。
- 2) 患者さまに質のよい看護を提供する。
クリティカルパスの導入を目指す。
- 3) 看護研究に取り組み知識技術を研鑽する。
患者さまに還元することを目指す。として取り組んだ。

1) について

療養しやすい環境作りのために施設面での改善が必要と考える年となった。当病棟は、平成11年度の新病棟の増設に伴い451号室のベッド数が1減となった。しかし高齢化の影響もあるためか呼吸器使用の対象となる患者さまは増加している。個室3室2床室3室の9床の中で呼吸器の使用に対応しているが、使用する患者様が5～6名となると、2床室での呼吸器使用を余儀なくされ、呼吸器を使用されない重症者を個室に収容し、急性期患者の入院ベッドの確保をすることが難しくなる。看護部と話し合い13年度に向けて4床室を1部屋呼吸器が使用できるようにぜひ改善したいと考える。

接遇については昨年に引き続き、接遇委員が中心となり月目標を決め、声を掛けあってきた。看護婦は病院の顔であることを自覚し、接遇の向上に勤めたい。

2) について

業務委員を中心にチームナーシングの内容を検

討した。患者のベットサイドでの時間を多く持つて患者さまの声を聞きたいという意見が多く、リーダー・メンバー共に部屋持ち制として責任ある看護を目指した。部屋持ち制とした時期が重症者の増加と重なり勤務時間の超過につながったが、その後の話し合いの中にも現在の方法を継続するという意見が多い。今後も検討し改善していきたい。

記録については教育委員を中心に短大の佐藤講師の協力をいただき勉強会を行った。今までの記録の反省から、フォーカスチャートリングを導入した。導入後も無理せず書きやすいところから始め、徐々にフォーカスチャートリングに移行している。導入後の評価をして更に記録の充実を図っていきたい。

クリティカルパスは循環器呼吸器内科で1検査、皮膚科で1疾患について作成した。検査用パスは、記録の簡略化も含めフローシートも併用している。使用後何点かのバリエーションの発生があり修正した。疾患用パスは、使用しているが症例が少ないため今後修正点が明らかになると思われる。

3) について

看護研究はメンバーの半数が昨年から引き続いて行った。症例を通じて看護の振り返りをした。

13年度に向けて、部屋持ち制の充実をはかり質のよい看護を提供できるようにスタッフ全員で努力していきたい。